

# 施策評価(令和元年度)

## 1 基本項目

基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策	2	地域とともに歩む魅力ある産業の育成
施策	19	商業
基本方針		
商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。		

## 2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
<a href="#">起業・創業・開業支援</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">農商観連携事業の推進</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">大規模商業施設との共存共栄の検討および連携体制の構築支援</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">農商観連携事業の整備</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">共同促販事業の推進</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">商店会等共同事業・イベントの充実</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">地域製品のブランド化・羽村名産品の開発・普及</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">金融支援の充実</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">羽村駅西口土地区画整理の推進</a>	計画どおり完了	A	A	A	レベルアップ
<a href="#">羽村駅自由通路の拡幅等整備</a>	計画どおり完了	A	A	A	完了
<a href="#">産業福祉センター機能の充実・拡大</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">中心市街地等活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討</a>	計画を見直し完了	A	A	A	レベルアップ
<a href="#">主要幹線道路の整備</a>	計画を見直し完了	A	A	B	レベルアップ

### 3 施策評価結果

施策19「商業」では、13事業について評価を実施した。

進捗状況については、「起業・創業・開業支援」などの11事業が「計画どおり完了」であるが、「主要幹線道路整備」および「中心市街地等活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討は、引き続き課題の整理などに取り組む必要があることから、「計画を見直し完了」と評価している。

各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)については、全てA(適切なもの)と評価している。

有効性(成果)については、「主要幹線道路の整備」において、具体的な整備計画等の検討に至っていないことから、B(課題があり、今後改善が必要なもの)と評価しており、その他の事業については、A(適切なもの)と評価している。

本施策の基本方針は「商店の独自性や魅力向上のための個別支援の実施を行うとともに、商店会の賑わい創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図る」ことであり、「起業・創業・開業支援」においては、創業支援コーディネーターによる個別支援のほか、創業支援補助金の採択者には起業のための財政的支援を行ったことや、「共同販促事業の推進」においては、市内における商店、事業所の売上向上や地域経済・企業等の活性化を図るため、商工会と共同した連携事業や、イベントの実施など、集客効果の高い共同販促事業を実施するなど、にぎわいの創出に取り組んだ。

また、「地域製品のブランド化・羽村名産品の開発・普及」では、北杜市と商品開発のプロジェクト会議を開催し、それぞれの課題や産業に関する情報交換を行うなど、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。

1.基本項目		作成部署		産業環境部		産業振興課	
事業名		開始年度		実施期間		事業種別	
00 起業・創業・開業支援		平成 26 年		期間設定5年		自治事務(市独自) その他	
01		年				○	
02		年					
03		年					
04		年					
05		年					
関連課		産業企画課					
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分		19 商業		管理No. 1	

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	空き店舗の解消、商店会の活性化を図るため、市内の空き店舗を活用して起業・創業・開業を希望する事業者を支援します。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市創業支援補助金交付要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	創業支援スペースサロンの運営	同左	同左	同左
	創業支援コーディネーターの配置による相談 延べ194人(12月末現在)	同左 延べ150人	同左 延べ150人	同左 延べ150人
	創業支援セミナー等の開催 6回	同左 6回	同左 6回	同左 6回
	創業支援制度の見直し			
	創業支援補助金の運用 2件	同左 2件	同左 2件	同左 2件
	創業支援事業計画の見直し			

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	70H	1人	70H	1人	70H	1人	70H
主事・主任職	2人	80H	2人	80H	2人	80H	2人	80H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	18,882	20,071	20,071	20,071
人件費(係長職)	337	337	337	337
人件費(主事・主事職)	505	505	505	505
総事業費(合計)	19,724	20,913	20,913	20,913
国庫支出金				
都支出金	8,637	9,284	9,284	9,284
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	11,087	11,629	11,629	11,629
財源内訳(合計)	19,724	20,913	20,913	20,913

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 376 円  
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

創業支援スペースiサロンの運営に加え、創業支援コーディネーターによる相談(延べ186人)、創業支援セミナー等を6回開催した。  
創業支援補助金の運用については、4件の申請があり、うち2件を採択し支援を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	20,071	-	20,071	19,703	98.2%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	70 H	1人	70 H
主事・主任職	2人	160 H	1人	80 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>○創業支援スペースiサロンの運営</li> <li>○創業支援コーディネーターの配置による相談 延べ150人</li> <li>○創業支援セミナー等の開催 6回</li> <li>○創業支援補助金の運用 2件</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○創業支援スペースiサロンの運営</li> <li>○創業支援コーディネーターの配置による相談 延べ186人</li> <li>○創業支援セミナー等の開催 6回</li> <li>○創業支援補助金の運用 2件</li> </ul>

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である</li> <li><input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある</li> <li><input type="checkbox"/> その他 ( )</li> </ul>	<b>A</b>
効率性(手法) <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している</li> <li><input type="checkbox"/> その他 ( )</li> </ul>	<b>A</b>
有効性(成果) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した</li> <li><input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている</li> <li><input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった</li> </ul>	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

起業・創業・開業を目指す事業者を支援するため、創業支援コーディネーターによる個別支援のほか、創業支援補助金の採択者には起業のための財政的支援を行うことで、起業のための足掛かりとなっており、現在の事業を継続していくことが、にぎわいの創出に寄与している。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

市内で創業を目指す事業者を支援するため、コーディネーターとも連携し、取組みを強化する。

1.基本項目		作成部署		産業環境部		産業振興課	
事業名		開始年度		実施期間		事業種別	
00 農商観連携事業の推進 ※施策20、21と重複		不明		年		継続	
						自治事務(市独自)	
						直営	
						プロジェクト	
01		年					
02		年					
03		年					
04		年					
05		年					
関連課		産業企画課					
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分		19		商業	
						管理No. 2	

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	農業、商業、観光が連携し、花と水のまつり等のイベント会場や観光案内所等でのマルシェの開催など、市内の逸品や農産物等の販売の取組みを推進します。また、市内商店・飲食店での羽村市産農産物の利用促進を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	農商観とのマッチングのコーディネート 4件	同左 5件	同左 6件	同左 7件
	激辛メニューの特別企画の開催や観光案内所でのむらマルシェ等の開催 2回	同左 2回	同左 2回	同左 2回
	商業協同組合の実施する15日市の支援 6回	同左 6回	同左 6回	同左 6回

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H
主事・主任職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費				
人件費(係長職)	241	241	241	241
人件費(主任・主事職)	158	158	158	158
総事業費(合計)	399	399	399	399
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	399	399	399	399
財源内訳(合計)	399	399	399	399

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円

イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円

ウ 成果(物)  の出来高  における1  のコストは  円

※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

第5回はむらイルミネーションの「激辛フェス」(21店舗 開催期間10月2日～10月31日)において、羽村産の唐辛子を使用したメニューを提供する連携事業を実施した。  
また、羽村市商業協同組合による「15日市」の開催(8/15を除く5回)を支援した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50H	1人	50H
主事・主任職	1人	50H	1人	50H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○農商観とのマッチングのコーディネート 5件 ○激辛メニューの特別企画の開催や観光案内所ではむらマルシェ等の開催 2回 ○商業協同組合の実施する15日市の支援 6回		○農商観とのマッチングのコーディネート 3件 ○激辛メニューの特別企画の開催 ○商業協同組合の実施する15日市の支援 5回

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

農業、商業、観光それぞれの分野における振興につながり、産業全体を活性化できる事業となっている。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

商工会の主催事業である「激辛フェス」の定着に向け、生産農家との連携充実を図るほか、市外からの来訪者の増加にもつながるよう、観光協会と施策を協議する。

1.基本項目	作成部署	産業環境部			産業企画課
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 大規模商業施設との共存共栄策の検討及び連携体制の構築支援		年	その他	自治事務(市独自)	直営
01		年			
02		年			
03		年			
04		年			
05		年			
関連課					
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	19	商業	管理No.	3

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	大規模商業施設と市内商店との共同事業の実施、大規模商業施設の集客力を活用した共同イベントの開催など、共存共栄を図ることができる事業を検討し取り組みます。また、大規模商業施設と市内の商店との継続的な連携体制の構築について検討していきます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	大規模商業施設の情報共有と連携体制の検討	同左	同左	同左
	大規模商業施設内での共同販売店舗の設置検討	同左	同左	同左
	共通ポイントカード事業等の導入について検討	同左	同左	同左
	はむらグルメのPR、激辛フェスの開催など商店の魅力を引き出すイベントの開催	同左	同左	同左
	商工会や商業協同組合等の関係機関との連携組織体制の構築について検討	商工会や商業協同組合等の関係機関と連携組織体制の構築について検討	商工会や商業協同組合等の関係機関と連携組織体制の運用	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費				
人件費(係長職)	145	145	145	145
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	145	145	145	145
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	145	145	145	145
財源内訳(合計)	145	145	145	145

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 3 円  
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

大規模商業施設の出店に関し、事業者との調整や情報収集に努めるとともに、庁内に「神明台2丁目地区まちづくり推進会議」を発足し、9回にわたり、情報の共有、諸課題の解決に向けて検討を重ねた。また、市内商店の魅力発信のため、商工会と連携し、「はむりんスクラッチ2019」の実施や農商連携による激辛フェスの開催等を支援した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	人	H	1人	H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>○大規模商業施設の情報共有</li> <li>○アンテナショップの検討、運営</li> <li>○共通ポイントカード事業の導入の検討</li> <li>○はむらグルメのPR、激辛フェスの開催など商店の魅力を引き出すイベントの開催</li> <li>○商工会や商業協同組合等の関係機関と連携組織体制の構築について検討</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○大規模商業施設の情報共有</li> <li>○アンテナショップの検討</li> <li>○共通ポイントカード事業の導入の検討</li> <li>○激辛フェス 参加事業所数 21店舗、はむりんスクラッチ2019 参加事業所数 217店</li> <li>○商工会や商業協同組合等の関係機関と連携組織体制の構築について検討</li> </ul>

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある</li> <li><input type="checkbox"/> その他 ( )</li> </ul>	<b>A</b>
効率性(手法) <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している</li> <li><input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している</li> <li><input type="checkbox"/> その他 ( )</li> </ul>	<b>A</b>
有効性(成果) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した</li> <li><input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている</li> <li><input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった</li> </ul>	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

大規模商業施設と市内商店との共同事業の実施、大規模商業施設の集客力を活用した共同イベントの開催などは、商店会との共存共栄や活気に満ちた商業の振興を図る上で必要であり、継続して情報収集に努めるとともに商工会や商業協同組合等の関係機関との連携について検討している。大規模商業施設及び大手企業等の進出にあたっては、全庁的な連絡・検討体制を構築し、情報共有や取り組むべき課題の明確化を図るとともに、当該地域のまちづくりの方向性を検討することができた。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

引き続き大規模商業施設等の出店動向を注視するとともに、商工会や商業協同組合等と連携して大規模商業施設と小規模商業者の共存共栄策の研究を進める。



1.基本項目		作成部署		産業環境部		産業企画課	
事業名		開始年度		実施期間		事業種別	
農商観連携施設の整備 ※施策20、21と重複		平成 29 年		継続		自治事務(市独自) その他	
00							○
01			年				
02			年				
03			年				
04			年				
05			年				
関連課		産業振興課					
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分		19 商業		管理No. 4	

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	市内の農産物や名産品・特産品を販売し、あわせて市の地域資源、観光情報の発信を、一年を通じて行う観光案内所の機能を有する農商観連携施設の整備に取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	産業関連の公共施設全体の構想の検討・とりまとめ	農商観連携施設の具体的な整備計画の検討	同左	同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費				
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)				
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)				
財源内訳(合計)				

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  における1  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

昨年度実施したサウンディング調査をもとに、産業関連施設の全体構想及び羽村堰周辺に人が集うための拠点整備構想の中で検討した。  
羽中4丁目整備用地は、観光駐車場やイベント会場として暫定的な活用を図った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50H	1人	50H
主事・主任職	人	H	1人	H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○農商観連携施設の具体的な整備計画の検討		○農商観連携施設の具体的な整備計画の検討

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法)率性 <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果)効性 <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

産業関連施設の全体構想、羽村堰周辺の一体的な構想とともに、活気に満ちた商業の振興が図られるよう、引き続き検討を進める。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

産業関連施設全体の構想を検討する中で、農商観連携施設について検討する。

1.基本項目	作成部署	産業環境部		産業振興課	
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 共同販促事業の推進	年	その他	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	○
01	年				
02	年				
03	年				
04	年				
05	年				
関連課	産業企画課				
基本目標3	ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	19	商業	管理No. 5

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	市と商工会、市内商業者等との共同販促事業を推進します。また、市内商店などで利用可能な共通ポイントカード事業等を検討し、実施します。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市市内共通商品券発行事業補助金交付要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	商工会等と事業内容の検討・支援	商工会等と共同したスクラッチ事業の実施	同左	同左
	はむらイルミネーションで激辛フェスの開催 20店舗	同左 15店舗	同左 15店舗	同左 15店舗
	はむらにぎわい音楽祭等でスタンプラリーの実施 44店舗	同左 42店舗	同左 43店舗	同左 44店舗
	マミーハロウィンフェスタでの共同販促事業の実施	同左	同左	同左
	共通ポイントカード事業等の導入の検討	同左	同左	同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100 H	1人	200 H	1人	200 H	1人	200 H
主事・主任職	1人	200 H	1人	200 H	1人	200 H	1人	200 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	28,150	15,335	7,335	7,335
人件費(係長職)	481	962	962	962
人件費(主事・主事職)	631	631	631	631
総事業費(合計)	29,262	16,928	8,928	8,928
国庫支出金				
都支出金	1,646	1,481	1,481	1,481
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	27,616	15,447	7,447	7,447
財源内訳(合計)	29,262	16,928	8,928	8,928

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 305 円  
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

市内における商店、事業所の売上向上や地域経済・企業等の活性化を図るため、商工会と共同した「はむりんスクラッチ2019」を実施した。また、激辛フェスやにぎわい音楽祭のほか、マミーハロウィンフェスタなど、共同販促事業の推進に努めた。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	15,335	▲ 4,168	11,167	7,910	70.8%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	200 H	1人	200 H
主事・主任職	1人	200 H	1人	200 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○商工会等と共同したスクラッチ事業の実施 ○はむらイルミネーションで激辛フェスの開催 15店舗 ○はむらにぎわい音楽祭等でスタンプラリーの実施 42店舗 ○マミーハロウィンフェスタでの共同販促事業の実施 ○共通ポイントカード事業等の導入の検討	⇒ ○はむりんスクラッチ2019事業の実施 ○はむらイルミネーションで激辛フェスの開催 21店舗 ○はむらにぎわい音楽祭等でスタンプラリーの実施 37店舗 ○マミーハロウィンフェスタでの共同販促事業の実施 ○共通ポイントカード事業等の導入の検討

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

各種共同販促事業は、市内経済活性化の一躍を担う重要な事業であり、着実に成果が表れている。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

にぎわい音楽祭は、来場者の減少が顕著となっていることから、魅力ある事業を検討していく。新型コロナウイルス感染症による市内経済の落ち込みが見受けられるため、商工会等と連携し、より一層の経済効果のある事業を検討する。

1.基本項目	作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 商店会等共同事業・イベントの充実		その他	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	○
01	年				
02	年				
03	年				
04	年				
05	年				
関連課					
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	19	商業	管理No.	6

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	商店会などが共同で行うイベントや販売促進活動等の充実に向けた取組みを支援し、商店会活性化を推進します。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市補助金等交付要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	商店会などが実施するイベントの支援 にぎわい音楽祭 4,500人 スタンプラリー抽選会 403人 マミーショッピングセンターハロウィンフェスタ 2,367人 15日市 6回 活力市 2回	同左	同左	同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	3,150	2,835	2,835	2,835
人件費(係長職)	145	145	145	145
人件費(主任・主事職)	158	158	158	158
総事業費(合計)	3,453	3,138	3,138	3,138
国庫支出金				
都支出金	1,646	1,481	1,481	1,481
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	1,807	1,657	1,657	1,657
財源内訳(合計)	3,453	3,138	3,138	3,138

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 56 円  
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

マミーハロウィンフェスタやにぎわい音楽祭など、商店会が共同で行うイベントの販売促進活動等の実施に努めた。  
 なお、15日市は6回の実施を予定していたが、台風の接近に伴い1回中止したことから、5回の実施となった。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	2,835	-	2,835	1,678	59.2%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	50H	1人	50H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○商店会などが実施するイベントの支援 ・にぎわい音楽祭 4,500人 ・スタンプラリー抽選会 403人 ・マミーショッピングセンターハロウィンフェスタ 2,367人 ・15日市 6回 ・活力市 2回		○商店会などが実施するイベントの支援 ・にぎわい音楽祭 2,000人 ・スタンプラリー抽選会 443人 ・マミーショッピングセンターハロウィンフェスタ 1,759人 ・15日市 5回 ・活力市 2回

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

商店会自らが主体的に実施する各種イベントのにぎわいを創出するため、個別に支援を行った。また、「はむりんスクラッチ2019」は初めての試みであったが、発行したスクラッチ券のほとんどが各店舗から出回ったほか、産業祭会場に抽選会の投函場所を設置したことで、産業祭のにぎわい創出につながった。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

新型コロナウイルス感染症による市内経済の落ち込みが顕著に見受けられるため、商工会等と連携し、より一層の経済効果のある事業を検討する。

1.基本項目		作成部署	産業環境部		産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法 プロジェクト
00	地域産品のブランド化・羽村名産品の開発・普及 ※施策21と重複		年	その他	自治事務(市独自) 直営
01			年		
02			年		
03			年		
04			年		
05			年		
関連課					
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	19	商業	管理No. 7

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	農商観連携の逸品やはむりんを使用した商品など、羽村名産品・特産品マークで認定を行います。また、地域イノベーション創出事業助成制度を活用した事業者間連携による新たな羽村オリジナルの商品開発や姉妹都市である山梨県北杜市との連携をもとにした「羽～杜プロジェクト」事業を推進し、普及に努めます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	新たな商品開発の検討	同左	同左	同左
	羽～杜プロジェクトを活用した商品開発の検討 プロジェクト会議4回	同左 4回	同左 4回	同左 4回
	羽村ブランドの認定制度の検討	羽村ブランドの認定制度の導入及び支援	同左	

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	40H	1人	40H	1人	40H
主事・主任職	1人	30H	1人	40H	1人	40H	1人	40H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費			-	-
人件費(係長職)	145	193	193	193
人件費(主任・主事職)	95	127	127	127
総事業費(合計)	240	320	320	320
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	240	320	320	320
財源内訳(合計)	240	320	320	320

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、  円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、  円  
 ウ 成果(物)  の出来高  における1  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

昨年度に引き続き、姉妹都市である山梨県北杜市と「羽～杜プロジェクト推進会議」を開催し、議論を重ねた。  
今年度も羽村のチューリップと北杜市のひまわりのエキスをを使った石鹸を作り、姉妹都市に関するアンケートに回答をいただいた両市の市民に配布した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40H	1人	40H
主事・主任職	1人	40H	1人	40H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○新たな商品開発の検討 ○羽～杜プロジェクトを活用した商品開発の検討プロジェクト会議4回 ○羽村ブランドの認定制度の検討		○新たな商品開発の検討 ○羽～杜プロジェクトを活用した商品開発の検討プロジェクト会議3回 ○羽村ブランドの認定制度の検討

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

北杜市とのプロジェクト会議において、それぞれの市域における課題や産業に関する情報交換をはじめ、新たな商品開発等に向けた情報交換を行い、活気のある商業の振興に努めた。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

引き続き、羽～杜プロジェクト事業の推進に努めるほか、羽村ブランドの創設に向け、関係機関と連携し、議論を深める。



1.基本項目		作成部署		産業環境部		産業振興課	
事業名		開始年度		実施期間		事業種別	
金融支援の充実 ※施策18に事業内容を掲載		昭和 56年		継続		自治事務(市独自)	
01		年				施行者への補助・助成	
02		年					
03		年					
04		年					
05		年					
関連課							
		施策区分		19 商業		管理No. 8	

2.事業の概要

施策の基本方針	企業経営の安定と強化、技術開発や新分野への進出、販路開拓、新たな起業や創業を促進するための支援に努め、地域とともに発展する活力ある工業の振興を図ります。
事業内容	商店などの経営基盤の安定・強化を図るため、融資制度の充実を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	中小企業資金融資制度 205件(うち平成30年度新規41件) (平成30年12月末現在)	同左 210件(新規40件)	同左 210件(新規40件)	同左 210件(新規40件)
	小口零細企業資金融資制度 161件(うち平成30年度新規22件) (平成30年12月末現在) 制度の見直しの検討	同左 190件(新規50件)	同左 190件(新規50件)	同左 190件(新規50件)
	創業者に対する指定融資商品に係る利子助成制度 0件(うち新規0件) (平成30年12月末現在)	同左 2件(新規1件)	同左 3件(新規1件)	同左 3件(新規1件)
		3つの制度の統合の検討	検討結果の反映	

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	19H	1人	19H	1人	19H	1人	19H
主事・主任職	2人	192H	2人	192H	2人	192H	1人	192H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	16,376	16,376	16,376	16,376
人件費(係長職)	92	92	92	92
人件費(主事・主事職)	1,212	1,212	1,212	606
総事業費(合計)	17,680	17,680	17,680	17,074
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	17,680	17,680	17,680	17,074
財源内訳(合計)	17,680	17,680	17,680	17,074

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 318 円  
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

中小企業などの経営基盤の安定・強化を図るため、中小企業資金融資制度として216件(うち新規48件)、小口零細企業資金融資制度として148件(うち新規30件)の支援を行った。  
また、より活用しやすい制度とするため、制度の見直しの検討を引き続き行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	16,376	-	16,376	16,374	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	19H	1人	19H
主事・主任職	2人	384H	1人	192H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○中小企業資金融資制度 210件(うち新規40件) ○小口零細企業資金融資制度 190件(うち新規50件) ○制度の見直しの検討 ○創業者に対する指定融資商品に係る利子助成制度 2件(うち新規1件)	⇒	○中小企業資金融資制度 216件(うち新規48件) ○小口零細企業資金融資制度 148件(うち新規30件) ○制度の見直しの検討 ○創業者に対する指定融資商品に係る利子助成制度 0件(うち新規0件)

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

市内での継続的な企業活動を資金面から支援するために必要な事業として定着しており、地域とともに発展する活力ある商業の振興に寄与している。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

引き続き、市内企業が継続的に企業活動を営めるよう財政的な支援に努める。

1.基本項目		作成部署	区画整理部 区画整理総務課、区画整理推進課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	羽村駅西口土地区画整理事業の推進 ※ 施策27に事業内容を掲載	平成 15 年	その他	自治事務	業務委託(一部)	○
01						
02						
03						
04						
05						
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	19	商業	管理No.	9

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	土地区画整理事業により、羽村駅西口地区の市街地整備を推進し、良好な都市環境の創出を図ります。
根拠法令	土地区画整理法
条例	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業施行規程 ほか 関連条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	移転実施計画に基づく街路等整備工事・移転補償の実施	同左	同左	同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	1,876 H	3人	1,876 H	人	H	人	H
主事・主任職	3人	1,876 H	3人	1,876 H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	942,906	685,500		
人件費(係長職)	27,049	27,049		
人件費(主任・主事職)	17,757	17,757		
総事業費(合計)	987,712	730,306		
国庫支出金	79,500	72,900		
都支出金	27,000	31,500		
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	881,212	625,906		
財源内訳(合計)	987,712	730,306		

③コスト計算

ア 市民	55,565	人における1人あたりのコストは、	13,143	円		
イ 対象者	4,200	人における1人あたりのコストは、	173,882	円		
ウ 成果(物)	整備面積	の 出来高	423,963	m <sup>2</sup> における1 m <sup>2</sup> のコストは	1,723	円

※ 対象者: 施行地区内計画人口

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	羽村駅西口土地区画整理事業は、新たな特定財源確保の目処がたち、事業計画変更の手続きを行い、今後、さらに計画的に事業の進展を図るための重要な局面にある。 第三次変更計画に沿って、着実に事業を履行し、引き続き、個々の権利者とともに市民に向け事業の進捗状況など正確な情報を発信し、推進に努めること。

②活動実績

事業計画における事業施行期間及び資金計画の見直しについては、国・東京都などの関係機関との協議を進め、昨年5月20日付で第3回変更の事業計画を決定した。  
この変更により、事業施行期間を15年間延伸し、事業費総額を436億円にするとともに、社会資本整備総合交付金(都市再生区画整理補助)を導入し、約35億円の市負担額の軽減を図った。  
また、平成27年度に着手したハード整備事業は、これまで、計画的に整備推進を図ってきたところで、今年度5月以降は第3回変更の事業計画に基づき、建物等の移転や区画道路築造工事等を進めるとともに、令和2年度以降に移転対象とする建物等の調査については、これまでに予定していた調査範囲を拡大するなど、令和18年度の事業完了を目指し、移転協議等を能率的に実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	685,500	-	685,500	535,074	78.1%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	5,628 H	1人	1,876 H
主事・主任職	3人	5,628 H	1人	1,876 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業計画変更の手続き等</li> <li>○仮換地の指定 20件</li> <li>○建物等の移転 27棟</li> <li>○区画道路築造工事 2件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業計画変更の決定</li> <li>○仮換地の指定 21件</li> <li>○建物等の移転 25棟</li> <li>○区画道路築造工事 2件</li> <li>○宅地の整地工事1件(換地変更分)</li> </ul>

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である</li> <li><input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある</li> <li><input type="checkbox"/> その他 ( )</li> </ul>	<b>A</b>
効率性(手法) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している</li> <li><input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 集団移転手法を用いた建物移転を実施し、事業の効率化を図っている )</li> </ul>	<b>A</b>
有効性(成果) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input checked="" type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている</li> <li><input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった</li> </ul>	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

本事業計画に基づき、ハード整備事業を計画的・効率的に進め、建物等の移転を行い、都市計画道路の用地空けや、区画道路を整備し権利者の移転先を確保するとともに、令和2年度の移転に向けた建物補償調査範囲を拡大するなど、着実な事業の進展を図った。

**Action【改善】**

**8. 今後の方向性**

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

**【改善点】**

東京都や教育委員会など、関係機関との連携・協力により計画的な事業推進に努めていく。  
また、事業資金である社会資本整備総合交付金、東京都補助金、起債などについては、財政担当と協議を行いながら、効率的・効果的に活用し、円滑な事業執行に努めていく。

**【今後の取組方針】**

本事業計画を踏まえ、引き続き関係権利者へ寄り添った丁寧な説明に努めるとともに、関係機関等との協議・調整を進め、計画的かつ効率的な事業の推進を図っていく。  
また、社会資本整備総合交付金、起債などの事業資金を最大限活用し、円滑な事業執行に努めていくとともに、市負担額の軽減が図れるよう引き続き事業費の抑制に努めていく。

1.基本項目		作成部署	都市建設部 建築課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	羽村駅自由通路の拡幅等整備 ※施策29に重複掲載	平成 27 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(全部)	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課		土木課、企画政策課				
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	19	商業	管理No.	10

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	駅利用者ならびに東西地区間の通路利用者の利便性や安全性の向上を図るため、羽村駅自由通路の拡幅等整備を計画的に進めます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	拡幅等整備の推進	同左		
	自由通路拡幅工事	同左		
	東口階段工事	同左		

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240H	1人	240H	人	H	人	H
主事・主任職	1人	240H	1人	240H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	602,219	368,622		
人件費(係長職)	1,154	1,154		
人件費(主任・主事職)	758	758		
総事業費(合計)	604,131	370,534		
国庫支出金				
都支出金	138,395			
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金	250,000	289,304		
起債				
一般財源(人件費含む)	215,736	81,230		
財源内訳(合計)	604,131	370,534		

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、  円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、  円  
 ウ 成果(物)  の出来高  における1  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

関係部署における調整を行い、自由通路拡幅に関する平成31年度施行協定(平成31年4月1日)を締結し、早期完成を目指し、JRに対する働きかけを行うとともに、拡幅工事完了後の施設の管理協定について協議を行い、管理区域を決定し、管理協定を締結した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	368,622	-	368,622	298,743	81.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240H	1人	240H
主事・主任職	1人	240H	1人	240H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 拡幅等整備の推進</li> <li>○ 自由通路拡幅工事</li> <li>○ 東口階段工事</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 拡幅等整備の推進</li> <li>○ 自由通路拡幅工事(完了)</li> <li>○ 東口階段工事(完了)</li> </ul>

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある</li> <li><input type="checkbox"/> その他 ( )</li> </ul>	<b>A</b>
効率性(手法) <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している</li> <li><input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している</li> <li><input type="checkbox"/> その他 ( )</li> </ul>	<b>A</b>
有効性(成果) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている</li> <li><input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった</li> </ul>	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

自由通路の拡幅により、駅利用者や東西地区への通行利用者の利便性や安全性の向上を図るとともに、情報発信やイベント案内等に活用できる空間を整備し、自由通路としての機能の充実を図ることで、活気に満ちた商業の振興に努めた。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

1.基本項目		作成部署	産業環境部		産業振興課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	産業福祉センター機能の充実・拡大 ※施策18に事業内容を掲載		年	その他	自治事務(市独自) 業務委託(一部)	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	19	商業	管理No.	11

2.事業の概要

施策の基本方針	企業経営の安定と強化、技術開発や新分野への進出、販路開拓、新たな起業や創業を促進するための支援に努め、地域とともに発展する活力ある工業の振興を図ります。
事業内容	市内産業振興の中核的な拠点となる施設として産業福祉センターの再整備を検討し、機能の充実・拡大を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	産業福祉センターの市内企業利用 342件 (平成30年12月末現在)	同左 500件	同左 500件	同左 500件
		施設の整備についての検討及び検討結果の取りまとめ	検討結果の反映  東京都との土地借用契約の更新	同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100H	1人	100H	1人	100H	1人	100H
主事・主任職	1人	60H	1人	60H	1人	60H	1人	60H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	9,029	11,078	-	-
人件費(係長職)	481	481	481	481
人件費(主任・主事職)	190	190	190	190
総事業費(合計)	9,700	11,749	671	671
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金		1,270		
起債				
一般財源(人件費含む)	9,700	10,479	671	671
財源内訳(合計)	9,700	11,749	671	671

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、  円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、  円  
 ウ 成果(物)  の出来高  における1  のコストは  円  
 ※ 対象者:



**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	東京都との土地の借用契約期間が令和2年6月に満了することから、今後の施設の方向性について総合的に検討を進め、東京都とも調整を図ること。

②活動実績

産業福祉センターは、市内の産業に携わる人々の活動を支援する産業振興拠点として重要な施設であり、研修会、健康診断、懇親会等の場として多くの企業等に利用されている。また、都との賃貸借契約期間(令和2年6月30日まで)満了後も引き続き、20年間の賃貸借契約を締結したことから、施設の耐震化をはじめ、中核施設としての機能の充実にに向けた検討を進める。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	11,078	▲162	10,916	10,132	92.8%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100H	1人	100H
主事・主任職	1人	60H	1人	60H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○産業福祉センターの市内企業利用 500件 ○施設の整備についての検討及び検討結果の取りまとめ		○産業福祉センターの市内企業利用 456件 ○施設の整備についての検討

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

市内企業の振興のための中核施設として、重要な役割を果たしている。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

賃貸借契約の更新を受け、市内企業振興のための中核施設としての機能の充実に図るため、施設利用、再整備について検討し、産業福祉センター機能の充実・拡大を図る。

1.基本項目		作成部署	都市建設部 都市計画課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	中心市街地等活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討 ※施策27に事業内容を掲	平成 29 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課	産業振興課					
基本目標3	ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	19	商業	管理No.	13

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活力に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	羽村駅周辺等の有効な土地利用や都市基盤の再整備について調査・研究し、中心市街地としてのにぎわいのあるまちなみの創出を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	中心市街地等活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討	同左	まちづくりガイドラインの策定 ※事業費はガイドラインの策定内容により決定	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40H	1人	80H	1人	60H	1人	60H
主事・主任職	1人	30H	1人	60H	1人	45H	1人	45H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費			-	-
人件費(係長職)	193	385	289	289
人件費(主任・主事職)	95	190	142	142
総事業費(合計)	288	575	431	431
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	288	575	431	431
財源内訳(合計)	288	575	431	431

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 10 円  
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

関連課及び神明台二丁目まちづくり推進会議との調整を図った。  
また、ガイドライン策定のための調整、整理を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	80H	1人	20H
主事・主任職	1人	60H	1人	10H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 検討会議 2回</li> <li>○ 関連課と調整 2回</li> <li>○ 関連する他施策との調整 2回</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関連課と調整 2回</li> <li>○ 関連する他施策との調整 3回</li> </ul>

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である</li> <li><input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある</li> <li><input type="checkbox"/> その他 ( )</li> </ul>	A
効率性(手法) <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している</li> <li><input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している</li> <li><input type="checkbox"/> その他 ( )</li> </ul>	A
有効性(成果) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した</li> <li><input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている</li> <li><input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった</li> </ul>	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

市内経済の活性化など本事業の主旨とも共通している神明台二丁目まちづくり推進会議との連携を図ることにより、にぎわいの創出の検討にあたり、効率的かつ合理的な取組みの推進を図ることができた。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

ガイドラインは、経済状況や社会情勢の変化に柔軟な対応が図れるような内容とする。

【今後の取組方針】

「神明台2丁目地区のまちづくり」の検討結果を踏まえながら、羽村駅東口を中心とした都市基盤整備について、住宅、商工業、防犯、防災、子育てなど様々な視点から検討を進めていく。

1.基本項目	作成部署	都市建設部				土木課
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 主要幹線道路の整備 ※施策29と重複掲載	不明	年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	19	商業	管理No.	14	

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	市道第101号線・102号線(市役所通り)については、市のメインストリートにふさわしい道路環境となるよう再整備を計画的に進めていきます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	市道第101・102号線(市役所通り)再整備計画の検討	同左	関係機関との協議・調整	実施設計および測量

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費				8,100
人件費(係長職)	49	49	49	49
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	49	49	49	8,149
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	49	49	49	8,149
財源内訳(合計)	49	49	49	8,149

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  における1  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

市道第101・102号線の再整備については、今までも様々な視点から検討を行っているが整備に至っていない。このことから社会情勢の変化など、様々な視点から問題点等の抽出を実施している。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○市道第101・102号線(市役所通り)再整備計画の検討		○市道第101・102号線(市役所通り)再整備計画の検討

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
有効性(成果) <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>B</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

市道第101・102号線については、道路維持保全計画を踏まえ道路舗装の修繕を実施した。再整備に向けた検討については、引き続き、課題整理に取り組み、メインストリートにふさわしい道路環境となるよう検討を続ける。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

市道第101・102号線については、道路維持保全計画を踏まえ、道路の改修工事の必要性や道路幅員構成等を検討し整備促進を図っていく。また、道路整備に合わせ、景観及び防災面から無電柱化の実現に向け東京都と調整を図る。

【今後の取組方針】

市道第101・102号線(市役所通り)については、神明台二丁目地区の整備の進捗状況や道路維持保全計画を踏まえ、市のメインストリートにふさわしい道路環境となるよう再整備を計画的に進めていく。